



はなみずき

横浜市立鶴ヶ峯中学校
学校だより No. 240
令和5年 6月30日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tsurugamine/>

学校教育目標

生徒一人ひとりが生き生きと自分らしい生き方を切り拓いていくための学びの場として、本校は次のことを重点とした教育活動を進めます。

- | | |
|-----------|---------|
| 自ら学び伸びる | (知) |
| 共に生きる | (徳・公・開) |
| 健やかな体をつくる | (体) |

Lunch Time Meeting in 校長室

校長 安田 慎司

行事や委員会活動、部活動などで、多くの生徒がリーダーシップを発揮し、所属する集団を牽引し、まとめ上げています。「学校は生徒が主役」です。できれば全員の「声」を聴きたいところですが、それは難しいので、中心となる生徒たちの「声」を聴き、本紙を読んでいる皆さんにお届けしたいと思います。

初回は、生徒会の顔役、本部役員の皆さんと対談しました。皆さんとても明るく、積極的に何事にも頑張るタイプ、何より発信力がある点が本部役員としての資質を備えていると感じました。

「一人ひとりの意見を大切にし」、「みんなが学校って楽しいところだと感じ」られる「安全・安心な学校づくり」を実現したいという想いを語ってくれました。行事等においても、上級生が頼りにされている点や、生徒相互に協力し合っている点をとらえ、「上下関係が少しずつよくなってきていると実感している。他学年との交流を増やせるよう、昼企画の充実を図りたい」と言っていました。

生徒の目線でとらえた課題については、生徒一人ひとりに「自分ごと」として問題意識を持ってほしいと訴えています。例えば「クラスの状態や雰囲気が先生によって違う」「授業と休み時間のメリハリがない」「チャイム着席を守る、掃除をさぼらない（誰かが大変な思いをすることがクラス不信につながるから）など、嫌な雰囲気をクラスや学年から撤廃したい」「守るべきことは守る」など、正に集団生活の基礎基本について、学校全体で意識していかなければならないと述べていました。

本部役員の想いが、鶴中生一人ひとりの想いへとつながり、大きな輪となって鶴中を包み、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校となるよう、気持ちをひとつに頑張りたいです。

3年生修学旅行を終えて

6月5日～7日の2泊3日で無事、修学旅行を実施することができました。最初で最後の宿泊行事ということもあり、職員・生徒ともに胸を躍らせながら懸命に準備して臨んだ結果、充実した3日間を過ごすことができました。

広島では、1年次から継続して取り組んできた平和学習の集大成として、平和講話や平和集会を意欲的に取り組む姿が見られました。京都では、伝統文化に触れ日本の歴史的な寺社仏閣を訪れたり、体験活動に取り組んだりしました。どちらも、調べ学習だけでは気づけないようなことを直接見て、聞いて、感じることもできました。

生徒たちは日中の学習に加え、宿舎での食事、各部屋での交流、移動時間の仲間たちとの交流も目を輝かせ、にぎやかに過ごす姿が見られました。公共機関のマナーや生活の決まりをきちんと守ったうえで活動できたことが、今回の修学旅行の成功につながったと感じます。

生徒の皆さんには修学旅行で学習した内容をさらに深く探究していく姿勢や、交流を深めたクラスメイトと今後もより良い人間関係を築いていくなど、今後の学校生活に生かして欲しいと願っております。

保護者の皆様、お子様たちは経験・成長を含めた多くのお土産を持って帰ってきたことと思います。無事に修学旅行を実施し、充実して終わることができたのは保護者様のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。

生徒代表のことば

修学旅行委員長

まずは、修学旅行が無事に終わった事がすごく嬉しいです。委員長になった時は、あまり自信がなく、でもやってやるぞ！という気持ちは一番ありました。3日間の行程の中で、集会時の内容や話すセリフを考えている時は騒ぎまくってしまいました。回を重ねるうちに、皆でアドバイスしたり、先生に聞いてみたりするうちに「何かいいなあ」って思いました。

そして修学旅行団結式。皆を盛り上げようと思い、勢いに任せてやったら、皆が爆笑してくれて、「あっ、この学年楽しいな。修学旅行うまくいくぞ。」と感じました。3日目の朝ごはんの挨拶でも、仲間と練習を1時間かけて（パフォーマンスを）やりました。「ファイヤー」が意外にウケて、とても嬉しかったです。

ここからは受験の準備もあり、楽しいことがしばらくはないですが、修学旅行のことを思い出しながら勉強を頑張ります。

来年、修学旅行を控えている2年生。全力で楽しむにはどんな工夫があるかを考え、成功させようと行動できる人なら委員長は務まると思います。

(紙面の都合でご本人の文章を少し短くまとめました。ご了承ください。)



平和宣言

「平和の子の像」前にて、平和集会が開かれました。3年間の平和学習の集大成として、平和宣言と千羽鶴の奉納を行いました。

1945年8月6日彼らはずっと何ら変わりのない日々を過ごしていました。友達と和気あいあいと遊ぶこと、家族との楽しい食事、町内での行事を通じての人との触れ合い…それらが、一瞬にして簡単に落とされた原爆により失われました。数え切れないほどの明るい命が奪われたのです。これらのことは、忘れてはいけない事実なのではないでしょうか。

原子爆弾は戦争中だけでなく、今もなお人々を苦しめています。放射線による影響で、病気で亡くなった人もいます。このような原爆の悲しい記憶を忘れずに、私達の心の中に「核は絶対につくらない」ということを誓い、願い続けなければなりません。

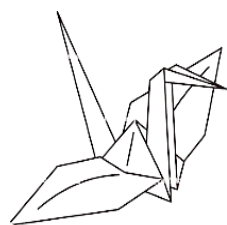
今年度の修学旅行のテーマは「crane&peace ～全緑で楽しめ全緑で学べ」です。このテーマには、私たち鶴中生が「楽しむ」ことだけでなく、平和を願い、平和を学び、次の世代につなげていきたいという思いが込められています。

私達は1年時に空襲をはじめとする身近な平和について学びました。例えば、横浜大空襲や東京大空襲における生活の苦しさです。空襲により、食料不足、満足にお風呂に入れない、病気にかかってしまうといった現実があることを学びました。続く、2年時では「つるちゃん」という沖縄戦での一人の少女を描いたお話や「サダコ～ヒロシマの少女と20世紀」という、一人の少女が平和を願って鶴を折り続けたお話を観ました。また、一人ひとりが慰霊碑、平和活動、原爆についての事前学習を通じて、戦争についての知識や理解を深めました。そして、今までの学習を肌で感じるために私達はこのヒロシマにきたのです。

今、世界は平和でしょうか。それぞれの国で生活している人々が、平和であるとは思っていない今があります。例えば、北朝鮮によるミサイルの発射、ロシアウクライナ問題、無差別テロ…。そのどれもが私たちの日常を簡単に奪い去ってしまうかもしれないものです。友達や家族との何気ない、楽しい会話が二度とできなくなってしまうのです。遠い国の話ではありません。一人ひとりの日常を、小さな幸せを守るために、ここでヒロシマを訪れて学んだことを生かし、平和を祈り続けていく必要があるはずです。

この修学旅行では、過去に起きた悲しい出来事の恐ろしさやその当時の人々の思いを知ることができます。資料館では見たことのなかった当時の資料を見ることができ、平和講話では私たちの知り得なかった体験者の方の本当の感情を知ることができました。そのことにより、私たちは平和を願う気持ちがさらに強くなっています。この思いを、次の世代に語り継いでいくことが、私たちの使命になっていくのではないのでしょうか。

このような平和を願う気持ちを持ち続けていくことで、戦争に対する思いが、自分たちの記憶に深く刻まれていくと思います。日本という地に生まれてきた以上、そこから目を背けずに、本当の平和とは何かを考え、まずは身近な人々の想いに寄り添いながら、生きていくことを誓います。



令和5年6月5日
横浜市立鶴ヶ峯中学校
三年生一同

かつて人類が起こした戦争の、その原因の根源にあるものは「差別」や「偏見」であり、「多様さ」に対して理解を示さないことによると考えられます。日常的にはびこる「いじめ」も根っこは同じです。「平和宣言」を唱える鶴中は、「戦争」を許さないように、「いじめ」も許してはいけないと思います。

2年生職場体験を終えて

職場体験の一環として、6月6日（火）にキッザニア東京に行ってきました。キッザニア自体が一つの「町」で、食品や製品を「ものづくり」の仕事、ガソリンスタンドや地下鉄などの「乗り物」に関する仕事、警察署や宅配便などの「みんなの役に立つ」仕事、パフォーマーやラジオDJなどのみんなを「楽しませる」仕事、パフューマーやコールセンターなどの「調べる・伝える」仕事などの生活に必要なたくさんの方のアクティビティがあります。仕事をすると給料が入り、それを使って食事や買い物もできるというシステムになっています。

各クラス10班に分かれて、約100種類あるアクティビティの中から事前の計画（希望）に則って、様々な活動に取り組みました。それぞれのアクティビティのユニフォームに身を包み、真剣に作業内容を聴き、集中して活動に取り組むことができました。また、活動は基本的に班行動ですが、実際にアクティビティに入るとその班だけではなく、その他の利用者（未就学児）と協力して作業する場面もありましたが、コミュニケーションをとりながら活動する姿は微笑ましいものでした。この日の生徒たちの姿は学校内では決して見ることでないもので、いつもより輝いて見えました。

この一日で4～5のアクティビティ（体験）を通して、「やりがい」、「魅力」、「達成感」、「辛さ」などに気付くとともに、自分が社会の一員だという自覚を高められる良い機会になったのではないかと思います。その後の事後学習も素晴らしい発表ができました。

今回の一連の学習（体験）で学んだ「話を聴く」、「ルールを守って協力して取り組む」などが、通常の学習活動や集団活動で生かされることを祈っています。

生徒代表のこぼ

学年委員長

今回、職場体験をし、私は二年生が協力できる学年だという事に気づけました。はじめは、皆が職場体験の目的を本当に分かっているか、班で協力し合って当日を無事に終わられるかが心配でした。そのため学年委員会では事前学習の時に劇を行い、目的や注意してほしいことについて伝えました。学年委員会では皆に真剣な気持ちで取り組んで欲しいことをどう伝えるか悩み、話し合い、意見を共有し合い、内容を考えました。その思いが伝わったのか、リーダーを中心に全員が協力して真剣に取り組むことができました。将来なりたいと思う仕事を見つけることもできていました。私も、班の協力で色々な仕事を体験でき、興味ある仕事を見つけられました。

改めて二年生が協力し合える学年ということを感じました。これからも学習の目的を忘れずに協力し合える学年でいたいと思います。

登録制ボランティア活動「鶴ボラ」

本校には、通称「鶴ボラ」と呼ばれるボランティア活動があります。

昨年度までは、コロナ禍で活動が縮小され、校地の除草や格技場横の池の清掃活動など、学校内で行えるものに限定していました。今年度からは、感染症対策の緩和を受けて、地域の活動も少しずつ再開されると思われます。

今年も鶴中生の皆さんに、ボランティア活動に登録してもらい、学校だけでなく、お住いの町内会を中心に地域の諸活動に積極的に参加してもらいたいと思います。ボランティア登録の際には、保護者の方には趣旨にご理解していただいた上で、当活動の許諾をお願いすることになります。



また、学校内の活動については、保護者様のご参加もお願いすることもあります。登録等については最終頁の登録票をご利用いただき、学校までご提出ください。お子さまを通して、あるいは学校正門の郵便ポストに投函してください。FAX がご家庭にある場合はご利用いただいても構いません。その他、ご不明な点等ございましたら学校までご連絡ください。

横浜市立鶴ヶ峰中学校 副校長
TEL 951-2327 FAX 951-1321

＜7月・8月・9月の主な行事＞ ※状況によって変更となる場合があります。

- 7月 10日（月） 保護者面談 （～14日）
放課後学び場（企業運営型）13：35～15：00
（～14日）
- 19日（水） 大掃除
- 20日（木） 1学期終業式
- 24日（月） 夏の学習相談会（企業運営型） （～28日）
午前の部 10：30～12：00 午後の部 13：00～14：30
- 8月 28日（月） 2学期始業式 教育相談（～30日）
- 30日（水） 旭区こども会議
- 9月 1日（金） 鶴中祭実行委員会 PTA本部・実行委員会
- 5日（火） 生徒委員会
- 8日（金） 生徒評議会
- 20日（水） 生徒会役員選挙立候補届出（～10/5）
- 21日（木） 2学期中間試験（～22日）
- 27日（水） 鶴中祭週間 （～10月21日）
- 29日（金） 3年生英検（予定）

鶴ヶ峯中学校 学校ボランティア登録票

記入年月日		年 月 日 ()	
氏名		生年月日	S・H 年 月 日 (歳) 男・女
住所	〒	電話番号	
		メールアドレス	
職業		資格・免許	特技
健康状況	良好・普通・配慮を要す ()		外国語会話 不可・可 ()
教育関係の経験	無・有 ()	ボランティア活動経験	無・有 ()
活動できる曜日と時間帯 (該当するところに○)	1 活動単位 1日 半日 (午前・午後) 時間で (時間) 要相談で		
	2 活動曜日 いつでも 曜日指定 (月 火 水 木 金 土 日) 要相談で		
	3 活動時間帯 いつでも 時間指定 (時から 時まで) 要相談で		
希望する活動内容 (番号に○)	1 授業や補習などの学習の補助 2 支援を要する生徒への介助や手助け 3 学校行事の手伝い 4 部活動の指導の補助や手助け 5 花壇や池の手入れや整備 6 学校敷地内の環境整備や清掃・草刈り 7 校内施設の補修や修繕 8 学校の簡単な事務作業 9 コンピューターの整備や入力作業 10 登下校時の見守り活動 11 職業講話や出前授業などでの講師 12 進路模擬面接での面接官 13 外国語での通訳支援 14 その他 (具体的に活動可能な活動内容をご記入ください。但し、内容によってはボランティアとしてお願いできない場合もあります)		
活動の動機			
※受付番号	※受付年月日		年 月 日 ()
※面接実施日		年 月 日 ()	※

*個人情報については、ボランティア活動においてのみ利用し、他の目的には利用しません。